



園だより かけはし

キッドワールドこども園
令和6年10月31日

冷たい空気が気持ちよい、秋らしい季節となりました。

しかし、朝晩の冷え込みから、体調を崩してしまうこともあります。園生活の中で、活動や気温に合わせて衣服の調整を行いながら、健康的に過ごしていきたいと思います。

先日の運動会では、好天に恵まれて、保護者の皆様も平日にも関わらず、沢山の方にご参加していただきありがとうございました。未満児クラスでは、月齢によってそれぞれの発達には差が見られますが、一人一人に合わせた種目を行うことで、成長した姿を保護者の皆様にお伝えできたのではないかと思います。

また、11月9日(土)にはサイクルショップコダマ大洲アリーナで行われる、3・4・5歳児の運動会があります。人数制限を設けていませんので、ご都合のつく方はお越しください。



行事予定

日	曜日	園児に関すること
5	火	身体計測(1・4歳児)
6	水	身体計測(2・5歳児)
7	木	Kids English
9	土	3・4・5歳児運動会(サイクルショップコダマ大洲アリーナ)
11	月	身体計測(3歳児)
12	火	歯科検診(未満児)
13	水	避難訓練(火災・通報)
14	木	Kids English
20	水	避難訓練(火災)
21	木	健康診断、身体計測(0歳児)、Kids English
25	月	バス遠足(4歳児)、弁当日(4歳児)
26	火	歯科検診(3・4・5歳児)
27	水	弁当日(0・1・2・3・5歳児)
28	木	誕生会、Kids English
29	金	誕生会



手嶋 はるか(0歳児クラス担当)

令和6年11月より採用となりました。お子さんの成長を保護者の皆様と共に感じられるよう関わっていきたく思いますのでどうぞよろしくお祈りします。

お知らせ・お願い

- ※ 11月の弁当日は、バス遠足に行く為、2日に分かれています。
25日(月)は、4歳児が弁当日となります。他の年齢は給食があり、27日(水)は、0・1・2・3・5歳児が弁当日となり、4歳児のみが給食の提供となりますので、間違いのないようお弁当の準備をお願いします。
- ※ 11月の保育料の納入期間は、25日(月)・26日(火)・27日(水)の3日間です。
(期限内に納入できない場合は、教頭の奥下の方へご相談ください。)

「4歳の壁」と子どもの受け止め

キッドワールド総合園長 牧野 桂一

4歳の子どもの急に反抗的な態度を取ったり不安定な感情を爆発させたりして周りの人を困らせることがあります。このことを「4歳の壁」と言いますが、その受け止めが大変難しいので、今回はそのことを少し突っ込んで考えてみたいと思います。

子どもたちは4歳になると、どの子も自己主張が強くなりやりたくないことへの抵抗感が強くなります。指示されることに反発することや、「無視する、暴れる、暴言をはく」など、不満やストレスも増えてきます。自分でできることが増えてくるのですが、感情をコントロールする力は未熟なのです。このようなことを一般的に「4歳の壁」と言います。

「4歳の壁」への対応は難しく、戸惑うことが多いのですが、この「壁」は子どもが大きく成長している証でもあります。したがって、このような反抗的な行動は子どもの成長にとっては欠かすことのできない重要な段階であると受けとめることが大切です。子どもにとってみれば、まだ自分の思いを言葉で上手く伝えきれないため、「泣き喚く」「暴れる」といった行動で表現するのはです。子どもは、このようなことを通して自分の欲求や要求の実現には他の人の助けが必要であるとともに他の人はいつも自分の思い通りにはならないことを学んでいくのです。したがって、子どもたちが「4歳の壁」に直面したときには、親や周囲の大人が、子どもの現在をしっかりと受けとめて、その気持ちに寄り添うような働きかけが大切になります。この「4歳の壁」を克服するためには、次のような対応が大切であるとされています。

① 冷静な受け止め

子どもの反抗には必ずきちんとした理由があるので、反抗したり癇癪を起こしたりしたら、まず冷静になって「何が不満なのか」「なぜイヤなのか」などの理由を聞くようにします。子どもの気持ちに寄り添いながら聞けば、子どもは自分が受け止められていると言うことを理解して落ち着くことができます。

② 子どもの甘えの受け止め

身体が大きくなってきたとはいえ、4歳児にはまだ甘えられる相手が必要なのです。抱っこなどのスキンシップを求めてくることや、今までできていたことを「やって」といって甘えるのもその一つです。急激に成長するこの時期は、子ども自身もその成長に追いついていけずに不安や戸惑いが起こるので、子どもが甘えてきたら時にはしっかりと受け止めて、子どもの心を満たしてあげると子どもは満足して落ち着きます。

③ 暴力への対応方法

子どもが叩く・蹴るなどの激しい暴力をふるう時には、叱ったり、カづくで押さえたりすると逆効果になります。そのような子どもに対しては、感情的になりそうな気持ちを押さえ、暴れている子どもの体をぎゅっと抱きしめたり背中をさすったりするなどして、子ども気持ちの治まるのを待つようにすると自分の気持ちを落ち着けることができるようになります。

④ 肯定的な声掛け

子どもの不満や不安感を取り除くためには否定的な受け止めをしないで肯定的な声掛けを行うことが必要です。子どもの悪いことを指摘する場合でも否定的な言葉の代わりに、肯定的で前向きな言葉を選ぶと子どもも落ち着きます。例えば、ただ「早くしなさい。早くしなさい」とせき立てるばかりではなく、「あと5分で食べ終わろうね」とか「10数えるまでにできるかな」などと言い換えることや、「ダメだよ。ダメダメ」と言うのではなく、「〇〇しようね」と肯定的に伝えることで、子どもも聞き入れやすくなります。できていることには「頑張っているね」「すごいね」と意識的に声を掛けることで、自分が「認められた」という感情が生まれ、また頑張ろう」という気持ちになります。

子どもが「4歳の壁」に直面している時には確かに大変ですが、一定の期間が過ぎれば子どもは一回り大きく成長した姿を見せてくれるようになります。これまで述べてきた行動の特性やその背景を理解すると気持ちにゆとりができてきますので、子どもたちと楽しくかかわっていけるようになります。このような中で子どもの良くなったことや成長した姿を周りの大人がしっかりと認めてあげるうちに子どもたちは「4歳の壁」を乗り越えて大きく成長していきます。